

令和 2 年度第 3 回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略 推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和 2 年 1 1 月 4 日（水）午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 2 0 分
- 開催場所 北庁舎 3 階第 1 会議室
- 出席委員 7 名
都留会長、秋山副会長、岡本委員、小野満委員、鈴木委員、松本委員、
日時委員
- 欠席委員 5 名
加藤委員、金子委員、小出委員、齋藤委員、中島委員
- 事務局
石橋政策総務部長、大井政策課長、吉本政策課長補佐、
岡村政策課副主幹、桜田理事、橋本主任
- 出席説明員
(政策総務部) 広報課 梶田課長
(行政管理部) 建築施設課 小林課長、南學課長補佐
(生活環境部) 産業振興課 山下次長（兼）課長、稲葉係長
観光プロモーション課 小塚課長
(都市整備部) 道路課 楠本副参事
公園緑地課 須田課長補佐
- 傍聴者 なし
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 確認事項
 - (1) 令和 2 年度第 2 回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会
議会議録（要旨）について
 - (2) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価票の
修正について
 - 3 審議事項
 - (1) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価につ
いて（対象：令和元年度、4 施策）
 - ア 市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
 - イ 地域の連携によるにぎわいの創出
 - ウ 公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
 - エ 百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業
 - 4 その他

■ 会 議 録 (要旨)

○会 長 それでは、ただいまから令和2年度第3回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を始めます。
まず、本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

○事務局 (出席状況の報告)

○会 長 ありがとうございます。
続いて、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 本日は傍聴者なしです。

○会 長 それでは、本日は傍聴者なしということになります。
続いて、本日の配布資料について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 本日配布した資料について説明いたします。
(配布資料の確認・説明)

【報告事項】

○会 長 資料はお揃いでしょうか。

それでは議事を進めます。

次第の2「確認事項」ですが、案件としては2件です。

1件目の「令和2年度第2回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会議録(要旨)」について、事前に事務局からデータを送付してもらっていたので、各委員は確認いただいていると思いますが、事前に事務局に委員から修正依頼等ありましたか。

○事務局 会長から1件ご依頼があっただけでございます。

○会 長 それでは、私から修正箇所について説明します。
10ページ下の私の発言の前半部分を削除させていただき

ました。自分が以前執筆したときの経験談を発言したのですが、この会議とは直接関係がありませんので、削除しました。なお、この発言の冒頭に「また、」とありますが、前の部分がなくなると必要がなくなりましたので、こちらも削除したいと思います。

- 会 長 この場でも結構なので、他に修正はありますか。
それでは、事務局は公開の手続きを進めてください。
- 会 長 次に、確認事項の（２）「具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況評価票の修正」について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 （資料２に基づき、修正部分を説明）
- 会 長 前回の審議内容に基づいた評価票の修正の説明でしたが、意見等はございますか。

（意見等なし）
- 会 長 よろしければ、事務局は公開の手続きを進めてください。
- 会 長 次に、次第の３「審議事項」、「(1) 具体的な施策・重要業績評価指標（K P I）進捗状況の評価について」に移ります。
最初に施策「市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進」ですが、まず、市の担当課から、担当課評価等について説明願います。
- 市担当課（観光プロモーション課・広報課）
（資料３に基づき、評価の概要を説明）
- 会 長 担当委員がお休みですので、事務局に協議会評価の朗読をお願いします。
- 事務局 （協議会評価欄を朗読）
「指標①の「京王線府中駅における１日の乗降人員」について

は、減少傾向がみられるものの京王線全体で減少していることを考慮すると施策に一定の効果があったものと評価できる。

(ちなみに調布駅は 18 年:129,968 人 →19 年:130,065 人の微増)

指標②の「市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合」については、K P I 数値の目標値への減少傾向が鈍化しているため、目標達成に向けて改善や工夫が必要と評価する。(下記グラフ参照)

市政情報を入手するにはホームページが一つの入口となる。個人的経験からの提案になるが、そのホームページでの検索がなかなかヒットしないので、これを改善することも有効と考える。

総合的には目標に向けて概ね進んでおり、協議会としての評価はBでよいと思われる。」

○会 長 ありがとうございました。
 他の委員からご意見などがあればお願いします。

○会 長 3 ページの「令和 2 年度の取組」欄の①に「例年実施している京王線・南武線・国分寺市との連携事業等・・・」との記載がありますが、レベル感の違う主体が並んでいて違和感があります。「国分寺市との連携事業」なら市と市の連携ということで分かるのですが、京王線・南武線というのは、主体としては「京王電鉄」「J R 東日本」などということでしょうか。

○市担当課（観光プロモーション課）「京王線・南武線沿線自治体」が正しい表現になりますので、訂正いたします。

○会 長 そのように修文をお願いします。
 このほかに、ご意見等ありますか。
 よろしければ、この施策についての審議はここまでにしたいと思います。

 それでは、続いて施策「地域の連携によるにぎわいの創出」に移ります。市の担当課の方から担当課評価等について説明をお願いします。

○市担当課（観光プロモーション課・産業振興課）

（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会 長 それでは、担当委員から説明をお願いします。

○担当委員 K P I で見る数値推移においては順調な伸びを示し、実績値では令和元年度46%増であり、目標は十分に達成している。一般財団法人まちづくり府中との様々な事業連携、ラグビーワールドカップ2019を契機とした府中市の魅力を市内外へ発信できたことと評価する。また、インバウンド需要が高まる中その流れをつかみ、様々な工夫した事業展開により府中市の認知度の向上や外国人おもてなし事業を評価する。

令和3年度は、2020東京オリンピック・パラリンピックや旧伊勢丹の再活用が見えている中、ル・シーニュを含めた府中駅周辺の核となる店舗を絡め連携し、府中市としての付加価値をどのように創出し、賑わいと消費増につなげるのか経済効果としての視点を数値化してみることも重要と思われる。

今後の事業展開として、コロナ対策に配慮したナイトタイムエコノミーの促進を期待する。以上で評価はAとしました。

○会 長 他の委員からご意見があればお願いします。

○会 長 担当委員は、実態をご存じなのだろうと思いますが、令和3年度に「旧伊勢丹の再活用が見えている」と記載されているのですが、具体的にご説明いただけますか。

○市担当課（産業振興課） 旧伊勢丹については、既に報道されているところですが、家電量販店のノジマが来年春から夏にかけて新たな商業展開を図る予定になっています。それをもとに、評価をいただいているものと思います。

○会 長 ノジマだけで全部を埋めるのですか。

○市担当課（産業振興課） 1棟全体をノジマが借り受けて、中に入るテナントについては、ノジマが様々な専門店を誘致してオープンさせるとのことです。

○会 長 中身については、了解しました。
他の委員の方はよろしいですか。

○会 長 よろしければ、次の施策「公共施設・インフラの計画的な管理及び運営」に移ります。

○市担当課（建築施設課・道路課・公園緑地課）
（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○担当委員 ① 公共施設の市民1人当たりの延床面積については、KPIは現状を維持しており順調な推移と評価されると思います。また、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランの進行度合いについては、モデル事業3は協議会での検討・協議もまとめ、検討協議会から次のステップである基本方針の策定についての協議・調整も行っており、今後の具体的な事業の検討・立案に向けた活動等が期待されるところです。そして、子育て支援センター「たち」等を対象とするモデル事業「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」についても、試行実施や効果検証もできておりますし、公共施設の最適化と計画的保全についての取組もできているということで、進捗状況は良好に推移していると評価しました。

②のインフラマネジメント計画については、63件の取組の内、運用している件数が増加、運用に向け検討している件数も増加し、未着手が2件のみとなっていること、インフラ老朽化対策等様々な具体的な取組が実施されていることから、順調な進行度合いと評価しました。反面、KPIの緑あふれるまちとしての市民満足度が年々低下しているところがあり、目標達成は難しいかと思えます。市民の満足度向上にむけた取組の改善・工夫が必要です。総合的評価としては、数値に引きずられてはいけないと思いますが、「着実に進んでいる」というよりは、「概ね進んでいる」ということで、協議会評価としてはBとさせていただきます。

○会 長 この施策についてご意見等いかがでしょうか。

○委員 指標である「緑あふれるまちとしての市民満足度」がここ数年数値が下がっているが、具体的に何が原因なののでしょうか。住民の方は緑が足りないと感じているのか、それとも維持管理ができていないことが、満足度に反映されているのでしょうか。

○市担当課（公園緑地課） 維持管理の部分で課題があるということが、市民の方の評価につながっていると捉えているところです。ここで緑の基本計画の改訂を行ったところですが、そこでは市民との協働による公園等の維持管理を基本に取り組むこととしており、今後具体的な取組を進めていく中で目指していきたいと考えています。

○会長 委員は、緑に関して府中に住んで感じる場所はありますか。

○委員 市内は府中の森公園なども緑であふれていてよいと思っておりますが、お話のように住民と一緒に管理して、住民と公園の結びつきが強くなるといいと感じています。

○会長 「ほっとするね緑の府中」とあるように、端的にいうと緑は多いのです。市民満足度の評価が低いのは、維持管理に問題があるのだと担当課の説明を聞いたわけですが、剪定などの問題なののでしょうか。

○市担当課（公園緑地課） 剪定、除草等に関する相談、市民からの声が多く寄せられる状況です。市民との協働で進めていくことが必要だと感じています。

○委員 9ページに記載されたK P Iの指標と令和元年度や5年間の施策全体の評価のバランスに違和感を感じています。11ページに記載されている5年間の総括の①の最後の部分の「K P Iの実績値については、現状より高くなっているが、・・・廃止後も現存している施設の解体等を行うことで、数値は下がるものと見込んでいる。」や②の「取組63件のうち、運用が46件、検討中が15件、未着手が2件となり、目標達成に向け早期に推進できている。」「街路樹の管理方針の作成及び緑の基本計画の改訂を行った。」という記載から、そういった点を評

価することは理解できるのですが、ただ、K P I 評価とのギャップが大きすぎて違和感を感じています。

また、K P I の①については、目標値が「現状維持」の 2.52 となっていて、H 2 7, H 2 8 がそれぞれ 2.49、2.48 で評価は「A」、R 1 は 2.54 で「B」となっていますが、その評価の違いについてよくわからないので、説明をお願いしたいと思います。

○市担当課（道路課） K P I 指標の②と施策内容のバランスに違和感があるのご指摘でしたが、インフラマネジメントは道路、公園、下水などを対象とするもので、インフラマネジメント計画を策定して推進しているところですが、本市の取組は近隣市と比べても大変進んでいると考えているところです。施策全体としては、11 ページにも書かせていただいたように、順調に進んでいると判断しています。

K P I の緑の関係を「C」評価とした点についてですが、市民満足度調査の結果は 1 位と高い評価なのですが、総合計画の中で設定した目標値が 7 4 パーセントという非常に高い数値としているために、どうしても低い評価になってしまうということです。毎年この指標で議論をしていただいていると思いますが、施策全体としては順調に進んでおります。また、この施策には道路などの社会基盤整備という面もあるのですが、その面がこの指標では見えにくい構造になっているのではないかと思います。

○市担当課（建築施設課） K P I ①の評価の「A」と「B」については、目標値としては現状維持の 2.52 ですが、計画期間中で見るとその数値ですが、長期的にみれば財政的にますます厳しくなることが予想されますので、少しでも減らせた方が望ましいということで、したがって、2.52 を少しでも下回った場合は「A」評価とし、若干の増については「B」評価としているところです。ということで、令和元年度については、概ね順調に進捗している、と評価させていただいたものです。

○委員 インフラの部分については、評価の視点が違うということを書き記述してはどうでしょうか。公共施設マネジメントの部分につ

いても、将来的な視点の説明があっても良いかもしれません。

○市担当課（道路課） 指摘いただいた点について修正を加えたいと思います。

○会 長 他によろしいでしょうか。
よろしければ、「公共施設・インフラの計画的な管理及び運営」についての論議はこれまでとします。
次に「百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業」に移ります。担当課の方、説明をお願いします。

○市担当課（観光プロモーション課）
（資料3に基づき、評価の概要を説明）

○会 長 事前に提出のあった委員意見を取りまとめた別紙資料について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 （別紙により説明）
「かるたコンテンツについては、官民連携事業が継続して実施され、コロナ禍においても工夫した取組が行われており、指標数値、5年間の取組からみると着実に進んでいる。
指標①及び②については、利用者数は昨年度と比較した場合、若干減少している状況にあるが、利用者数がキープできているとの判断から評価できる。ただし、当該事業との因果性が他の施策事業とも絡んでいて直接的ではないところがある。
指標③については、昨年度より観光入込客数は増加しているものの、目標数に届いていない。
今後はさらに市内回遊、全国への発信・観光に資する取組が期待される。令和元年度においては企画を年度末にまとめたことにより、コロナ禍の影響を全面的に受けたことが反省点ではないか。夏の企画、冬の企画等分散して開催する工夫をしていただきたい。」

○会 長 このとりまとめでよろしいでしょうか。ご意見をお願いします。

- 委員 全てのイベントが初心者かるた大会に合わせて実施されているということでしょうか。
- 市担当課（観光プロモーション課） 特に連動しているわけではありません。会場等の都合などを見ながら実施しているところもございます。
- 会長 とりまとめの冒頭の文章に違和感があります。令和元年度の評価ということであれば、すべてを中止しているのに、「かるたコンテンツについては、官民連携事業が継続して実施され、コロナ禍においても工夫した取組が行われており、指標数値、5年間の取組からみると着実に進んでいる。」と記述することが分かりません。いかがでしょうか。
- 事務局 確かにコロナ禍で3月に予定していたイベントは実施できませんでしたが、担当課はそれまで準備を進めるなどの取組を行い、また、その準備をもとに今年度もその実施に向けて動いている実態もありますので、コロナ禍においても取組を進めたという意味合いで記載したところですが、また、委員意見も参考にさせていただいた部分もございます。
- 会長 書き方を変えた方がよいと思います。
- 市担当課（観光プロモーション課） 令和元年度における関連の取組といたしましては、地方創生関連の交付金事業とは別になりますが、都の補助金により、3月にデザインマンホールを設置しています。コロナ禍においても、密集せずに楽しんでいただけるということで、ツイッター、SNS等で好評をいただきました。評価票にどこまで書けるかということではありますが、評価いただけたところです。
- 会長 「ちはやふる」の絵がはめこまれたマンホールということでしょうか。財源は、地方創生交付金ではなくて、東京都の補助金だったということですね。
- 事務局 デザインマンホールにつきましては、令和元年度評価には記

載していませんが、5年間評価の方で触れさせていただいております。

○会 長 冒頭の文章でも「5年間の取組からみると着実に進んでいる。」という部分は分かるのですが、「コロナ禍においても工夫した取組が行われており」というところは、計画していたが実施できなかったというような言い方が分かりやすいと思いますので、その方向で修正してください。

○委 員 ②の「ただし、当該事業との因果関係が・・・ところがある。」の一文はマイナス面に捉えられる点もあるので、不要ではないでしょうか。

○会 長 わたしはその通りだと思いましたが。
冒頭の文章については、事務局と私で調整させていただきます。委員のご指摘部分は、削除ということによろしいですか。
それでは、「百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業」の審議はこれまでにしたいと思います。

○会 長 これで本日予定されていた4つの施策の審議は終わりました。
最後に、次第4「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。
事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から2点ご連絡させていただきます。
次回会議の日程につきましては、12月17日（木）
午後3時から、場所は府中駅北第2庁舎3階会議室を予定しています。
次回ご審議いただく施策につきましては、残りの3施策を予定しております。
「地域交流・活動の促進」、「ラグビーのまち府中推進事業」、「市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業」となっておりますので、よろしくお願ひいたします。

○会 長 事務局からの連絡事項も終わりました。
では、以上をもちまして、令和2年度第3回府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を閉会いたします。
委員の皆様、お疲れ様でした。